

『難治性気管支喘息外来』開設のお知らせ

≪背景≫

気管支喘息は、気道炎症を起因として発作性の咳、痰、喘鳴を繰り返す疾患です。吸入ステロイドを中心とした治療が普及し、病気のコントロールは良好となり、喘息死は減ってきています。しかし、これらの治療を行ってもコントロールが不十分な気管支喘息(難治性喘息)の患者さんが5~10%いらっしゃる事が分かっており、この方々をどのように治療していくかが課題とされています。

難治性喘息患者さんの治療のため、近年、複数の生物学的製剤(抗 IgE 抗体、抗 IL-5 抗体、抗 IL-5 受容体抗体、抗 IL-4/13 抗体)が投与されており効果を発揮しています。更に、薬物を用いない治療として、気管支熱形成術が2015年4月より保険適応となり、当院でもこの治療を行っており、一定の効果をあげています。

しかし、生物学的製剤を行える施設は限られており、気管支熱形成術を行える施設は群馬県では当院だけであり、これらの治療の恩恵を得られていない患者さんが多くいらっしゃいます。

≪役割≫

難治性気管支喘息外来では、群馬県における難治性喘息患者さんに生物学的製剤や気管支熱形成術を含む適切な治療を提供する事、難治性喘息患者さんの治療を行っている医院や病院の先生方と連携して、病気のコントロールを行っていく事を目的とします。

≪外来受付日≫ 月、火、木、金曜日の AM8:30~11:30 まで(連携枠をご利用下さい)

≪難治性気管支喘息外来診療日≫ 毎週水曜日 AM8:30~11:30 まで

難治性気管支喘息外来を行っている水曜日は初診の方の受付をしておりません。

かかりつけ医の先生の紹介状を持って当科初診外来を受診していただいた後、本外来に受診していただくこととなります。

本外来受診後、病気の状況を調べるため問診票の記入をしていただいたり、必要な検査を行っていただいたりした後、治療方法を検討していきます。

本外来に受診中もかかりつけ医の先生の外来には受診していただき、連携して病気の治療を行っていきます。

難しい病気の調整役、かかりつけ医の先生とのパイプ役として尽力していきますので、何卒よろしく願いいたします。

2019年10月

群馬大学呼吸器・アレルギー内科 一同